

比較日本学教育研究センター活動報告

【1】比較日本学教育研究センター運営委員会

森山新（比較社会文化学）、秋山光文（比較社会文化学）、浅田徹（比較社会文化学）、新井由紀夫（比較社会文化学）、香西みどり（ライフサイエンス）、高崎みどり（比較社会文化学）、高島元洋（比較社会文化学）、中村俊直（比較社会文化学）、古瀬奈津子（比較社会文化学）、宮内貴久（比較社会文化学）、森義仁（理学）、ロール・シュワルツ＝アレナレス（比較社会文化学）、和田英信（比較社会文化学）

- 第1回 平成20年4月16日
- 第2回 平成20年5月7日
- 第3回 平成20年6月11日
- 第4回 平成20年9月10日
- 第5回 平成20年10月22日
- 第6回 平成20年11月26日
- 第7回 平成21年1月21日

【2】比較日本学教育研究センター研究委員会

市古夏生（比較社会文化学）、菅聡子（比較社会文化学）、神田由築（比較社会文化学）、古瀬奈津子（比較社会文化学）、宮内貴久（比較社会文化学）、森山新（比較社会文化学）、頼住光子（比較社会文化学）、ロール・シュワルツ＝アレナレス（比較社会文化学）

- 第1回 平成20年6月11日
- 第2回 平成20年9月10日
- 第3回 平成20年10月22日
- 第4回 平成20年11月26日
- 第5回 平成21年1月21日

【3】第10回国際日本学シンポジウム

2008（平成20）年7月5日（土）～6日（日）
（共通講義棟2号館201号室）

▽7月5日（土）

○10：30～10：45 開会式

○セッションⅠ

テーマ 人類・食・文化

○10：45～12：45 公開講演会

フランソワーズ・サバン（日仏会館）

「食物、人間、そして神聖なるもの」

マクシム・シュワルツ（パスツール研究所）

「農業害虫の生物的防除—パスツールから遺伝子組み換え作物まで—」

○14：00～16：10 研究発表会

～米と雑穀の日本文化～

司会 村田容常（本学教員）、古瀬奈津子（本学教員）

シャルロッテ・フォン・ヴェアシュア（フランス国立研究院）

「古代日本人は米をどれぐらい食べていたか？」

香西みどり（本学教員）

「日本の米の食文化」

増田昭子（立教大学）

「雑穀の社会史」

○16：30～18：00 パネルディスカッション

○18：00～19：00 茶話会（共通講義棟2号館201号室前）

▽7月6日（日）

○セッションⅡ

テーマ 源氏物語の千年—日本と欧米における源氏絵の旅

司会 ロール・シュワルツ＝アレナレス（本学教員）

○13：00～17：00 研究発表会

清水婦久子（帝塚山大学）

「源氏物語の絵画性」

原山絵美子（本学大学院生）

「『源氏物語』竹河巻の絵画性—『あさきゆめみし』を出発点として—」

エステル・レジェリー＝ポエール（フランス国立東洋言語文化研究院）

「フランスにおける源氏物語の研究—テキストへの視線と絵画への視線—」

渡辺雅子（メトロポリタン美術館アジア部門）

「米国における源氏物語イメージの美術史的研究活動」

○17：15～18：00 パネルディスカッション

司会 平野由紀子（本学教員）

【4】シンポジウム実行委員会

・森山新（センター長）

・古瀬奈津子（セッションⅠ 司会・コーディネーター）

・香西みどり（セッションⅠ 発表）

・ロール・シュワルツ＝アレナレス（セッションⅡ 司会・コーディネーター）

【5】比較日文学教育研究センター公開講演会

○2008（平成20）年度 第1回 2008年5月29日（木）

アニック・ホリウチ（フランス・パリ第7大学）

「近世日本の知のネットワーク～『魯西亜（ロシア）』関連の言説を通して～」

○2008（平成20）年度 第2回 2008年6月27日（金）

アマンダ・C・シーマン（アメリカ・マサチューセッツ州立大学アムハースト校）

「Two for One —現代日本女性文学におけるアイデンティティとしての妊娠—」

○2008（平成20）年度 第3回 2008年12月6日（土）

坂本満（本学教員）

「南蛮屏風をよむ」

○2008（平成20）年度 第4回 2009年3月6日（金）

太田原高昭（北海道大学、北海道地域農業研究所）

「今、日本の食料を考える—現場で何が起きているか—」

【6】第3回国際日文学コンソーシアム

テーマ 学際性を追求する日文学—日本の食・もてなし・家族—

▽12月15日（月）

○10：00～11：00 開会式

○12：30～16：30 日本語学部会

（人間文化創成科学研究科棟6階大会議室、人間文化創成科学研究科棟5階SCS室）

第1部

司会・タイムキーパー 百瀬みのり（本学大学院生）

岩崎典子（英国・ロンドン大学SOAS）

「タマネギと1個とセロリ1本 “One onion and one celery”？—食べ物名詞の捉え方の日英比較と英語・日本語教育への示唆」

具軟和（本学大学院生）

「広告と食—日・韓のコマーシャルからみることばと食」

第2部

司会・タイムキーパー 百瀬みのり（本学大学院生）

阪口治子（英国・ロンドン大学SOAS大学院生）

「日本語学習者からみたジェンダー言語」

藤井禎子（本学大学院生）

「日本語の歴史の中の位相と性差」

アンナ・チョールナヤ（本学大学院生）

「江戸語の位相と遊里語」

イソ・アバコーン（本学大学院生）

「タイ語の文末辞と日本語の終助詞『わ』」

『Kha』と『わ』の対照
 高橋秀子（本学大学院生）「平安時代の和歌の贈答について」
 交流の時間
 ①参加大学院生スピーチ
 星野祐子（本学大学院生）
 「目的をもった会話の研究—多人数による話し合い場面を中心に」
 百瀬みのり（本学大学院生）
 「中世期日本語資料にみられる接続詞の機能」
 井之浦茉里（本学大学院生）
 「歌舞伎テキストにおける義太夫節の機能」
 王湘榕（本学大学院生）
 「日中語の指示詞の対照研究」
 高橋由衣子（本学大学院生）
 「三島由紀夫の戯曲の表現」
 石井佐智子（本学大学院生）
 「言い切りの夕について」
 ②SOASなど参加協定校における日本語学研究的現状報告、共同研究の可能性等、自由な意見交換
 ○15：30～19：00 歴史学部会（人間文化創成科学研究科棟6階大会議室）
 第1部
 司会・タイムキーパー 矢越葉子（本学大学院生）
 ヤン・シーコラ（チェコ・カレル大学）
 「国民性を反映する食の文化及びその変遷」
 イザベル小沼（フランス・パリ第7大学）
 「家族法における人間像と家族法改正問題」
 アンガス・ロキア（英国・ロンドン大学SOAS）
 「Golf Clubbing—もてなしとしてのゴルフ」
 第2部
 司会・タイムキーパー 矢越葉子（本学大学院生）
 今給黎佳菜（本学大学院生）
 「19世紀におけるジャポニズムと日本製洋食

器 “Japonisme in the 19th Century and Western Tableware Made in Japan”」
 古瀬奈津子（本学教員）
 「芋粥の話」
 野田有紀子（本学リサーチフェロー）
 「平安貴族の招待状—書状にみる交遊空間—」
 ▽12月16日（火）
 ○13：00～16：50 日本文学部会（文教育学部1号館1階大会議室）
 第1部
 司会・タイムキーパー 菅聡子（本学教員）
 范淑文（台湾・国立台湾大学）
 「漱石の作品における食・もてなし—『虞美人草』を例として—」
 森暁子（本学大学院生）
 「北条氏繁の寝茶の湯—戦国武将の生活の一齣」
 麥媛婷（台湾・国立台湾大学大学院生）
 「芥川龍之介における母性認識—初期の母性描写の抑制から後期の母性謳歌へ—」
 第2部
 司会・タイムキーパー 武内佳代（本学大学院生）
 李志炯（韓国・淑明女子大学校）
 「文学者の経済意識と家庭—島崎藤村と1920年代の日本を背景として—」
 アンナ・クジヴァーンコヴァー（チェコ・カレル大学大学院生）
 「マグダレナ・ドプロミラ・レットィゴヴァー：チェコ料理及び文学への貢献」
 朴嫻榮（韓国・淑明女子大学校大学院生）
 「菊池寛の通俗小説における近代家庭の女性」
 李南錦（本学大学院生）
 「国家と家庭と女性—日・韓近代文学における看護婦表象と良妻賢母思想」
 ○18：00～20：00 懇親会（本学マルシェ）
 ▽12月17日（水）
 ○9：00～12：30 日本語教育学部門（人間文化

創成科学研究科棟5階SCS室、人間文化創成科学研究科棟6階大会議室)

テーマ：文化を取り入れた総合的日本語教育のための新たな取り組み

ーTV会議を用いた国際遠隔協働授業とセミナーを通じた交流型授業ー

第1部<特別企画>

司会 石井佐智子(本学大学院生)

ドラージ土屋浩美(米国・ヴァッサー大学)

「ヴァッサー大学日本語夏期研修：交流を通じた異文化理解」

佐野香織(米国・ヴァッサー大学、本学大学院生)

「web掲示板と遠隔TV会議システムを利用した授業実践ー『言い訳』に注目してー」

第2部

司会 石井佐智子(本学大学院生)

森山新(本学教員)

「文化を取り入れた総合的日本語教育のための新たなとりくみー国際交流型授業と国際遠隔協働授業ー」

李徳奉(韓国・同徳女子大学校)

「『交流法』による多文化理解の効果と限界について」

西岡麻衣子(韓国・同徳女子大学校大学院生)

「多文化理解を目指した交流型学習の意義と今後の方向性ー第5回日韓大学生国際交流セミナーを通してー」

小林知香子(本学大学院生)

「国際遠隔協働授業は文化を取り入れた総合的日本語教育として有効かーJFL韓国人の日本語学習者の授業評価を中心にしてー」

○9:30~12:10 日本思想部門(文教育学部1号館8階 803号室)

第1部<「食・もてなし・家族」>

司会・タイムキーパー 斎藤真希(本学大学院生)

頼住光子(本学教員)

「仏教における『食』」

高島元洋(本学教員)

「神道における『食』」

張彦麗(中国・北京外国語大学日本学研究センター)

「日本文化論の中の『家族』」

第2部<大学院生自由課題発表>

司会・タイムキーパー 斎藤真希(本学大学院生)

大内山祥子(本学大学院生)

「神と妖怪ー柳田國男『妖怪談義』の中で語られるお化けー」

尾崎円郁(本学大学院生)

「『日本霊異記』についての一考察」

ローレンティ・アンドレイ(フランス・パスカル大学大学院生、本学大学院留学生)

“On the medical paradigm Stoics and Buddhists
A comparative approach”

李斌瑛(中国・北京外国語大学日本学研究センター大学院生)

「幕末期における武士階級の倫理思想ー幕末の社会情勢との関連を中心にー」

○13:30~16:30 全体パネルディスカッション・全体会議

(人間文化創成科学研究科棟6階 大会議室)

第1部 各部会報告

日本語学会(発表者:百瀬みのり)

歴史学部会(発表者:重田香澄)

日本文学部会(発表者:武内佳代)

日本語教育学部会(発表者:石井佐智子)

日本思想部会(発表者:斎藤真希)

第2部 各大学との意見交換ー来年度のコンソーシアムに向けて

【国際日本学コンソーシアム参加大学】

カレル大学(チェコ)

国立台湾大学(台湾)

淑明女子大学校(韓国)

同徳女子大学校(韓国)

パリ第7大学（フランス）

北京外国語大学日本学研究センター（中国）

ロンドン大学・東洋アフリカ研究学院（SOAS）
（英国）

（特別参加校）ヴァッサー大学（米国）